

平成23年度 春夏作芝関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成23年度春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成23年11月15日(火)に第一ホテル両国において開催された。

この検討会には、試験場関係者12名、委託関係者63名ほか、計86名の参集を得て、除草剤26薬剤(171点)、

生育調節剤4薬剤(27点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成23年度 春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

(注) アダグラインは新たに判定された部分

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	判定	判定内容
1. AKD-7175 粒 DBN:1.2% シタゾン:3% [アグロネショウ]	ノシバ	適用性 継続	植調研 埼玉 (2)	ねらい スギナ発生初期 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 スギナ 設計 土壌処理 芝生育期、雑草発生初期 薬量 8g <水量> 10g 12g /㎡ 対) 一任	実・継	実) [春夏作; (ノシバ) 一年生雑草、多年生広葉雑草、スギナ] ・芝生育期、雑草発生前～初期 ・8～12g/㎡ ・土壌処理 継) ・ヤハズリに対する効果の確認(ノシバ) ・倍量薬害試験での確認(ノシバ) ・萌芽期薬害の確認(ノシバ) ・高温期薬害の確認(ノシバ) ・緑化木への影響の確認
2. BAH-0902 マイクロバ セル ベンチイタリン:38.7% [BASFジャパン]	クナキ ブルグ ラス	適用性 継続	東日本G研 埼玉 静岡G場協会 新中国G研 (4)	ねらい 雑草発生前 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般(ヤ科を除く) 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 土壌処理 芝生育期・雑草発生前 薬量 0.4mL <200～300mL> <水量> 0.5mL <200～300mL> 0.6mL <200～300mL> /㎡ 対) クラブロック 芝生育期・雑草発生前 0.12g <200～300mL>	実・継	実) [春夏作; (クナキブルグラス、ノシバ、バームーグラス) 一年生雑草(ヤ科を除く)] ・芝生育期、雑草発生前 ・0.5～0.7mL<200～300mL>/㎡ ・土壌処理 [春夏作; (クナキブルグラス) 一年生雑草(ヤ科を除く)] ・芝生育期、雑草発生前 ・0.4～0.6mL<200～300mL>/㎡ ・土壌処理 継) ・効果・薬害の確認 (クナキブルグラス) ・倍量薬害試験での確認 (クナキブルグラス、ノシバ、バームーグラス、クナキブルグラス) ・連用試験での確認 (クナキブルグラス、ノシバ、バームーグラス、クナキブルグラス) ・実証試験での確認 (クナキブルグラス、ノシバ、バームーグラス、クナキブルグラス) ・萌芽期薬害の確認 (クナキブルグラス、ノシバ、バームーグラス) ・高温期薬害の確認 (クナキブルグラス、ノシバ、バームーグラス、クナキブルグラス) ・緑化木への影響の確認
	コクライ ハ・ノシ バ	実証試 験 新規	真名CC かごしま空港CC (2)	ねらい 実証試験 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般(ヤ科を除く) 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 土壌処理 芝生育期・雑草発生前 薬量 0.6mL <200～300mL> <水量> 対) クラブロック 芝生育期・雑草発生前 0.12g <200～300mL>		

A. 除草剤

注) アナライズは新たに判定された部分

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・雑 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
3. BAH-1004 液 ベンザン: 44% (w/w) [BASFジャパン]	コウライシ バ	適用性 雑統	東日本G研 J埼玉 真名CC 新中国G研 門司GC (5)	ねらい 対象 雑草 一年生雑草 - 一年生広葉 全般 多年生雑草 - 多年生広葉 - その他 ヒメグサ 設計 薬量 <水量> /㎡ 全面茎葉処理 芝生期・雑草生期 0.5mL <100~200mL> 0.75mL <100~200mL> 1mL <100~200mL> 対) ギャロ液剤 芝生期・雑草生期 0.5mL <100~200mL>	実・雑	実) [春夏作; (コウライシ、バ) 一年生広葉雑草(マ 科を除く)、ヒメグサ] ・ 芝生期、雑草生期 ・ 0.5~1.0mL<100~200mL>/㎡ ・ 茎葉処理 (雑) ・ 倍量薬害試験での確認(コウライシ、バ) ・ 連用試験での確認(コウライシ、バ) ・ 実証試験での確認(コウライシ、バ) ・ 高温期薬害の確認(コウライシ、バ) ・ 緑化木への影響の確認
	ノシバ	適用性 雑統	東日本G研 J埼玉 真名CC 新中国G研 門司GC (5)	ねらい 対象 雑草 一年生雑草 - 一年生広葉 全般 多年生雑草 - 多年生広葉 - その他 ヒメグサ 設計 薬量 <水量> /㎡ 全面茎葉処理 芝生期・雑草生期 0.5mL <100~200mL> 0.75mL <100~200mL> 1mL <100~200mL> 対) ギャロ液剤 芝生期・雑草生期 0.5mL <100~200mL>		
4. BEH-447 フロアブル オキサリフロン: 2.2% [バ イエルロップサイエンス]	バ・ミュー ググラス	適用性 新規	東日本G研 関西G研 新中国G研 西日本G研 (4)	ねらい 対象 雑草 一年生雑草 全般(スズメノカタビラ、ヒメバ等) 一年生広葉 全般(ヤスリ、イヌノハナリ類・ナシ科・ 材料等) 多年生雑草 - 多年生広葉 シロツメクサ・オオバコ・カタバミ等 その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 芝生期・雑草生期 0.15mL <100~200mL> 0.2mL <100~200mL> 0.25mL <100~200mL> 対) ミニスト顆粒水和 芝生期・雑草生期 0.0045g <150~250mL>	実・雑 (従 来と お り)	実) [春夏作; (コウライシ、バ) 一年生雑草、多年生広 葉雑草] ・ 芝生期、雑草生期 ・ 0.2~0.25mL<100~150mL>/㎡ ・ 茎葉処理 (雑) ・ 効果、薬害の確認(バ・ミューググラス) ・ 低薬量(0.15mL)での効果の確認(コウライシ、バ) ・ 連用試験での確認(コウライシ、バ) ・ 実証試験での確認(コウライシ、バ) ・ 萌芽期薬害の確認(コウライシ、バ) ・ 高温期薬害の確認(コウライシ、バ) ・ 効果の確認された草種 メシバ、オオアレチノギク、ヒメカタビラ、エノネ、ヒメツメクサ、 スズメノカタビラ、ハキア、ヒメグサ、ノボリ、チドリ、オオバコ、カタバミ
	バ・ミュー ググラス	倍量薬 害 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	ねらい 対象 雑草 一年生雑草 - 一年生広葉 - 多年生雑草 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 芝生期 0.25mL <100mL> 0.5mL <200mL> 1.0mL <400mL>		

A. 除草剤

注) アダ-ラインは新たに判定された部分

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等		判定	判定内容
5. DAH-0808 EW ジ フェ ル: 24% [ゲウキニッポ]	コウライシ バ	適応性 継続	東日本G研 西日本G研 (2)	ねらい	バシバ 発生初期	実・継	[春夏作; (コウライシバ、バシバ) 一年生イネ科雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.1~0.2mL<200~300mL>/㎡ ・ 土壌処理 [春夏作; (コウライシバ、バシバ) 一年生広葉雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.2~0.3mL<200~300mL>/㎡ ・ 土壌処理 [春夏作; (コウライシバ、バシバ) バシバ] ・ 芝生育期、雑草発生初期 ・ 0.1~0.3mL<200~300mL>/㎡ ・ 土壌処理 [春夏作; (コウライシバ、バシバ) ハズリウ] ・ 芝生育期、雑草発生初期 ・ 0.15~0.3mL<200~300mL>/㎡ ・ 土壌処理 [春夏作; (ケンタキープ ルーグ ラス) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.1~0.2mL<200~300mL>/㎡ ・ 土壌処理
				対象 雑草	一年生イネ科 バシバ 一年生広葉 - 多年生イネ科 - 多年生広葉 - その他		
				設計 薬量 <水量> /㎡	土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 0.1mL <200~300mL> 0.2mL <200~300mL> 0.3mL <200~300mL>		
	バシバ	適応性 継続	東日本G研 西日本G研 (2)	ねらい	バシバ 発生初期		[春夏作; (ケンタキープ ルーグ ラス) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.1~0.2mL<200~300mL>/㎡ ・ 土壌処理
				対象 雑草	一年生イネ科 バシバ 一年生広葉 - 多年生イネ科 - 多年生広葉 - その他		
				設計 薬量 <水量> /㎡	土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 0.1mL <200~300mL> 0.2mL <200~300mL> 0.3mL <200~300mL>		
	コウライシ バ	適応性 継続	東日本G研 門司GC (2)	ねらい	ハズリウ 発生初期		[春夏作; (コウライシバ、バシバ) ハズリウ] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.1~0.2mL<200~300mL>/㎡ ・ 土壌処理
				対象 雑草	一年生イネ科 - 一年生広葉 ハズリウ 多年生イネ科 - 多年生広葉 - その他		
				設計 薬量 <水量> /㎡	土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 0.15mL <200~300mL> 0.2mL <200~300mL> 0.3mL <200~300mL>		
	バシバ	適応性 継続	東日本G研 門司GC (2)	ねらい	ハズリウ 発生初期		[春夏作; (コウライシバ、バシバ) ハズリウ] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.1~0.2mL<200~300mL>/㎡ ・ 土壌処理
				対象 雑草	一年生イネ科 - 一年生広葉 ハズリウ 多年生イネ科 - 多年生広葉 - その他		
				設計 薬量 <水量> /㎡	土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 0.15mL <200~300mL> 0.2mL <200~300mL> 0.3mL <200~300mL>		

注)
・ 高温期の使用では葉の濃緑化などがみられる事がある(ケンタキープ ルーグ ラス)
・ 萌芽期での使用では葉先が白化する事がある(ケンタキープ ルーグ ラス)

継)
・ バシバ 発生初期処理での効果、葉害の確認(コウライシバ、バシバ)
・ ハズリウ 発生初期処理での効果について年次変動の確認(コウライシバ、バシバ)
・ 連用試験での確認(コウライシバ、バシバ、ケンタキープ ルーグ ラス)
・ 実証試験での確認(コウライシバ、バシバ、ケンタキープ ルーグ ラス)
・ 緑化木への影響の確認

A. 除草剤

注) アシゲ-ラインは新たに判定された部分

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
6. GG-155 顆粒水和 イマズメロン:15% [住化ケ-リン]	コウライシ バ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 ヒメグサ 設計 薬量 <水量> /㎡ 芝生育期 雑草発生初期 0.1, 0.15, 0.2g <200~300mL> 対) シバタイ40SC 0.1mL <200~300mL>	実・継	[春夏作; (コウライシバ、ノシバ) 一年生広葉雑草、多年 生広葉雑草] ・ 芝生育期、 雑草発生前~初期 ・ 0.1~0.2g<200~300mL>/㎡ ・ 茎葉兼土壌処理 [春夏作; (コウライシバ、ノシバ) ヒメグサ] ・ 芝生育期、 雑草発生初期 ・ 0.1~0.2g<200~300mL>/㎡ ・ 茎葉兼土壌処理 継) ・ 雑草発生前、発生初期処理での効果、葉害の確 認(ベ-ントグ-ラス) ・ ヒメグサに対する効果について年次変動の確認 [コウライシバ、ノシバ] ・ 連用試験での確認(コウライシバ、ノシバ) ・ 実証試験での確認(コウライシバ、ノシバ) ・ 萌芽期葉害の確認(コウライシバ、ノシバ) ・ 緑化木への影響の確認
	ノシバ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 ヒメグサ 設計 薬量 <水量> /㎡ 芝生育期 雑草発生初期 0.1, 0.15, 0.2g <200~300mL> 対) シバタイ40SC 0.1mL <200~300mL>		
	ベ-ントグ- ラス	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 全般 その他 ヒメグサ 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.1, 0.15, 0.2g <200~300mL> 対) イブ-ルDF 芝生育期 雑草発生前 0.03g <200~300mL>		
	ベ-ントグ- ラス	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 かごしま空港CC (3)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 全般 その他 ヒメグサ 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 0.1, 0.15, 0.2g <200~300mL> 対) シバタイ40SC 芝生育期 雑草発生初期 0.1mL <200~300mL>		
7. BPW-106 フロアブル エトベンザ-ニド:35% [保土谷UPL]	ベ-ントグ- ラス	適用性 継続	自社試験 東日本G研 サ-ビルズ CC 新中国G研 (4)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般(ヒメグサ 類) 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期、ヒメグサ 出芽前(1回目) →第1回目処理45日後(2回目) →第1回目処理90日後(3回目) 1mL×3回 <200~300mL> 1.5mL×3回 <200~300mL> 2mL×3回 <200~300mL> 対) フェバ-リン水和剤 ベ-ントグ-ラス芝生育期 ヒメグサ 発生前 1.2g <200mL>	実・継	[春夏作; (ベ-ントグ-ラス) ヒメグサ] ・ 芝生育期、ヒメグサ 発生前~初期 ・ 1~2mL<200~300mL>/㎡ ・ 土壌処理 ※3回処理にて効果および芝(ベ-ントグ-ラス)に対する 安全性が確認された 継) ・ 倍量試験での確認(ベ-ントグ-ラス) ・ 実証試験での確認(ベ-ントグ-ラス) ・ 高温期葉害の確認(ベ-ントグ-ラス)
				ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般(ヒメグサ 類) 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期、ヒメグサ 発生初期(1回目) →第1回目処理45日後(2回目) →第1回目処理90日後(3回目) 1mL×3回 <200~300mL> 1.5mL×3回 <200~300mL> 2mL×3回 <200~300mL> 参) フェバ-リン水和剤 ベ-ントグ-ラス芝生育期 ヒメグサ 発生初期 1.2g <200mL>		
				ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般(ヒメグサ 類) 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期、ヒメグサ 発生初期(1回目) →第1回目処理45日後(2回目) →第1回目処理90日後(3回目) 1mL×3回 <200~300mL> 1.5mL×3回 <200~300mL> 2mL×3回 <200~300mL> 参) フェバ-リン水和剤 ベ-ントグ-ラス芝生育期 ヒメグサ 発生初期 1.2g <200mL>		
				ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般(ヒメグサ 類) 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期、ヒメグサ 発生初期(1回目) →第1回目処理45日後(2回目) →第1回目処理90日後(3回目) 1mL×3回 <200~300mL> 1.5mL×3回 <200~300mL> 2mL×3回 <200~300mL> 参) フェバ-リン水和剤 ベ-ントグ-ラス芝生育期 ヒメグサ 発生初期 1.2g <200mL>		

A. 除草剤

注) アダージンは新たに判定された部分

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
8. KUF-2301 水和 既知化合物A:4.25% 既知化合物B:65.0% [シマダ化学工業]	ベントグ ラス	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 藻類 設計 薬量 <水量> /㎡ 基葉処理 ベントグラス生育期 ・単用:藻類発生始期 3.0g <500mL> ・反復:藻類発生始期 →再増殖始めたまたは14日後 3.0g→3.0g <500mL> 対) プレート水和剤 ベントグラス生育期、藻類発生始期 2.0g <500mL>	継	継) ・効果、葉害の確認(ベントグラス)
9. KUH-114 顆粒水和 7.5/キウスルネン:75% [シマダ化学工業 理研グリーン]	日本芝	作用性 新規	植調研 (1)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.15g <200~300mL> 0.2g <200~300mL> 0.3g <200~300mL> 対) 慣行	継	継) ・効果、葉害の確認 (コライシバ、ノシバ、ハミューダグラス)
	日本芝	作用性 新規	植調研 (1)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 ヒメグサ 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期、雑草発生前/発生始期 0.1g <200~300mL> 0.15g <200~300mL> 0.3g <200~300mL> 対) 慣行		
	コライシ バ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.15, 0.2, 0.3g <200~300mL> 対) 慣行		
	ノシバ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.15, 0.2, 0.3g <200~300mL> 対) 慣行		
	ハミュー ダグラス	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.15, 0.2, 0.3g <200~300mL> 対) 慣行		

A. 除草剤

注) アンダーラインは新たに判定された部分

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
10. LNS-001顆粒水和 剤(シメタリン)50% [エス・デー・イー・エス・バイオテック] [丸紅]	コウライシ バ	適用性 継続	東日本G研 J埼玉 新中国G研 西日本G研 かごしま空港CC (5)	ねらい 雑草発生初期 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 ヒメツグ、ハヤシグ 設計 薬量 <水量> /㎡ 0.03g <100~200mL> 0.045g <100~200mL> 0.06g <100~200mL> 対) アグリン水和剤 0.3g <150~300mL>	実・継	実) [春夏作; (コウライシバ、ノシバ、アンダーグ) 一年生広葉 雑草、多年生広葉雑草] ・ 芝生育期、雑草発生初期 (3 葉期まで) ・ 0.03~0.06g<100~200mL>/㎡ ・ 茎葉兼土壌処理 [春夏作; (コウライシバ) ヒメツグ、ハヤシグ] ・ 芝生育期、雑草発生初期 ・ 0.03~0.06g<100~200mL>/㎡ ・ 茎葉兼土壌処理
	ベントグ ラス	適用性 継続	東日本G研 静岡G場協会 新中国G研 (3)	ねらい 雑草発生初期 対象 雑草 一年生(科) (ヒメシバ) 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 全般 その他 (サツタグ) 科) 設計 薬量 <水量> /㎡ 0.03g <100~200mL> 0.045g <100~200mL> 0.06g <100~200mL> 対) アグリン水和剤 0.3g <150~300mL>	継	・ 効果、薬害の確認 (シメタリン、アグリン、ヒメツグ、ハヤシグ) ・ ヒメツグに対する効果の確認(コウライシバ) ・ ハヤシグに対する効果の確認(コウライシバ) ・ 効果、薬害の確認(ベントグラス) ・ 連用薬害試験での確認(ベントグラス) ・ 倍量薬害試験での確認(コウライシバ、ノシバ) ・ 実証試験での確認(コウライシバ、ノシバ、ベントグラス) ・ 緑化木への影響の確認
	ケンタッキー ブルーグ ラス	適用性 新規	札幌国際CC 東日本G研 静岡G場協会 (3)	ねらい 雑草発生初期 対象 雑草 一年生(科) (ヒメシバ) 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 全般 その他 (サツタグ) 科) 設計 薬量 <水量> /㎡ 0.03g <100~200mL> 0.045g <100~200mL> 0.06g <100~200mL> 対) アグリン水和剤 0.3g <150~300mL>		
	ハーミー グラス	適用性 新規	静岡G場協会 西日本G研 かごしま空港CC (3)	ねらい 雑草発生初期 対象 雑草 一年生(科) (ヒメシバ) 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 全般 その他 (サツタグ) 科) 設計 薬量 <水量> /㎡ 0.03g <100~200mL> 0.045g <100~200mL> 0.06g <100~200mL> 対) アグリン水和剤 0.3g <150~300mL>		
	ベントグ ラス	倍量薬 害 新規 (自社)	(株)エス・デー・イー・エス・バイオテック (2)	ねらい 倍量薬害 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 0.03g <100~200mL> 0.045g <100~200mL> 0.06g <100~200mL> 対) アグリン水和剤 0.3g <150~300mL>		
11. MAC-1 プロアブル タシメタリン:45.0% (w/w) [丸紅]	ベントグ ラス	適用性 継続	東日本G研 太平洋C美野里C 真名CC (3)	ねらい 雑草発生初期 対象 雑草 一年生(科) (ヒメシバ) 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 1.0mL <200~300mL> 1.5mL <200~300mL> 2.0mL <200~300mL> 対) イグリン水和剤 芝生育期、ヒメシバ 発生前 1.0g <250mL>	実	実) [春夏作; (ベントグラス、ケンタッキーブルーグラス) スミマカ タビ] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 1~2mL<200~300mL> ・ 土壌処理 [春夏作; (ベントグラス) スミマカタビ、ヒメシバ] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 1~2mL<200~300mL> ・ 土壌処理 [ヒメシバに対する効果、薬害の確認(ベントグラス)]

A. 除草剤

注) アナグ-ラインは新たに判定された部分

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
12. MAH-0802 プロアブル ベンデメタリン:35% [マクシム・ア・ン・ジ・ヤハ ン]	ソバ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	ねらい 雑草発生前 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 (雑科除く) 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.5mL <200mL> 0.65mL <200mL> 0.8mL <200mL> 対) 慣行 芝生育期、雑草発生前	実・継	実) [春夏作; (コライバ、ソバ) 一年生雑草 (雑科を除く)] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.5~0.8mL<200mL>/㎡ ・ 土壌処理 継) ・ 効果、薬害の確認 (ソバ) ・ 散布水量300mLでの効果、薬害の確認 (コライバ、ソバ) ・ 倍量薬害での確認 (コライバ、ソバ) ・ 連用試験での確認 (コライバ、ソバ) ・ 実証試験での確認 (コライバ、ソバ) ・ 萌芽期薬害の確認 (コライバ、ソバ) ・ 高温期薬害の確認 (コライバ、ソバ) ・ 緑化木への影響の確認
13. MBH-021 液 アミナクロル・ラコル:21.2% [丸和パ・イ・サミル]	ソバ	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	ねらい 雑草生育期 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 全般 その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 雑草生育期、芝生育期 0.01mL <200mL> 0.015mL <200mL> 0.02mL <200mL> 0.03mL <200mL> 比) プラスコM液剤 1mL <200mL>	実・継 (従 来 ど お り)	実) [春夏作; (コライバ) 一年生広葉雑草、多年生広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.015~0.03mL<200mL>/㎡ ・ 茎葉処理 継) ・ 効果、薬害の確認 (ソバ) ・ 倍量薬害での確認 (コライバ) ・ 連用試験での確認 (コライバ) ・ 実証試験での確認 (コライバ) ・ 萌芽期薬害の確認 (コライバ) ・ 高温期薬害の確認 (コライバ) ・ 緑化木への影響の確認
	ソバ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	ねらい 雑草生育期 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 全般 その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 雑草生育期、芝生育期 0.015mL <200mL> 0.02mL <200mL> 0.03mL <200mL> 比) プラスコM液剤 1mL <200mL>		
14. MBH-022 液 アミナクロル・ラコル:3% アコフ・ロフ P:42% [丸和パ・イ・サミル]	ケンタッキー ブルーグラス	適用性 継続	札幌国際CC 東日本G研 埼玉サジ・ア2002 静岡G場協会 新中国G研 (5)	ねらい 雑草生育期 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 全般 その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 雑草生育期、芝生育期 0.1mL <100~200mL> 0.15mL <100~200mL> 0.2mL <100~200mL> 比) プラスコM液剤 1mL <100~200mL>	実・継	実) [春夏作; (ケンタッキー・ブルーグラス、ベレ・アラグ・ラス) 一年生 広葉雑草、多年生広葉雑草] ・ 芝生育期、雑草生育期 ・ 0.1~0.2mL<100~200mL>/㎡ ・ 茎葉処理 継) ・ 効果、薬害の確認 (ケンタッキー・ブルーグラス、ベレ・アラグ・ラス) ・ 倍量薬害での確認 (ケンタッキー・ブルーグラス、ベレ・アラグ・ラス) ・ 連用試験での確認 (ケンタッキー・ブルーグラス、ベレ・アラグ・ラス) ・ 実証試験での確認 (ケンタッキー・ブルーグラス、ベレ・アラグ・ラス) ・ 高温期薬害の確認 (ケンタッキー・ブルーグラス、ベレ・アラグ・ラス) ・ 緑化木への影響の確認
	ベレ・アラ グ・ラス	適用性 継続	札幌国際CC 東日本G研 埼玉サジ・ア2002 静岡G場協会 新中国G研 (5)	ねらい 雑草生育期 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 全般 その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 雑草生育期、芝生育期 0.1mL <100~200mL> 0.15mL <100~200mL> 0.2mL <100~200mL> 比) プラスコM液剤 1mL <100~200mL>		

A. 除草剤

注) アンダーラインは新たに判定された部分

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
15. MBH-113AL 液 アミシクロリダール :0.0015% メブロップP:0.021% N:P:K=0.1:0.15:0.1 [丸和パナソニック]	コウライシ バ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研	ねらい (2) 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 全般 多年生(科) - 多年生広葉 全般 その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 雑草生育期、芝生育期 100mL/㎡ <希釈せずそのまま散布> 150mL/㎡ <希釈せずそのまま散布> 200mL/㎡ <希釈せずそのまま散布> 対) シバニードン9-AL 150mL/㎡ <希釈せずそのまま散布>	継	継) ・効果、葉害の確認(コウライシバ)
16. MCP-Na 液 MCPAナトリウム塩:19.5% [2.4D協議会]	ケンタッキー ブルーグラス	適用性 新規	札幌国際CC 東日本G研 新中国G研	ねらい (3) 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 全般 その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 芝生育期、雑草生育期 1.5g (1.38mL) <200mL> 1.5g (1.38mL) <300mL> 2g (1.84mL) <200mL> 対) 慣行処理(一任)	継	継) ・効果、葉害の確認 (ケンタッキーブルーグラス)
17. SB-201 乳 ジメチルリン:25% [エス・ディー・エス パナソニック]	コウライシ バ	適用性 新規	東日本G研 関西G研 新中国G研 西日本G研	ねらい (4) 対象 雑草 一年生(科) シババ 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.2mL <200-300mL> 0.3mL <200-300mL> 0.4mL <200-300mL> 対) デイコリン乳剤 0.15mL <200mL>	実・継 (従来どおり)	実) [春夏作: (バントグラス) シババ] ・芝生育期、雑草発生前 ・0.3~0.4mL <200-300mL>/㎡ ・土壌処理 継) ・反復処理での効果、葉害の確認(バントグラス) ・効果、葉害の確認(コウライシバ) ・連用試験での確認(バントグラス) ・実証試験での確認(バントグラス) ・高温期葉害の確認(バントグラス)
	バントグ ラス	適用性 継続	東日本G研 太平洋C美野里C 関西G研 新中国G研	ねらい (4) 対象 雑草 一年生(科) シババ 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.2mL→0.2mL (2回処理) <200-300mL> 0.3mL <200-300mL> 0.4mL <200-300mL> 対) テアバサン 1.5g <200-300mL>		
	コウライシ バ	倍量薬 害 新規	東日本G研 西日本G研	ねらい (2) 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 (梅雨明け高温時) 0.4mL <200mL> 0.8mL <400mL> 1.6mL <800mL>		
	バントグ ラス	倍量薬 害 継続	太平洋C美野里C 関西G研	ねらい (2) 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 (梅雨明け高温時) 0.4mL <200mL> 0.8mL <400mL> 1.6mL <800mL>		
	バントグ ラス	連用薬 害 継続	関西G研 新中国G研	ねらい (2) 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.2mL→0.2mL (2回処理) <200-300mL> 0.4mL <200-300mL>		

A. 除草剤

注) アグライは新たに判定された部分

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種・類 新・継 の 別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
18. SB-208 顆粒水和 7:3カハゲン:70% [エス・ディー・エス・アイ・テック] カ]	コウライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 J埼玉 関西G研 新中国G研 (4)	ねらい 雑草発生初期 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 全般 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 0.03g <100~200mL> 0.04g <100~200mL> 0.05g <100~200mL> 対) グブ ルアグ WDG 0.045g <200mL>	実・継	実) [春夏作; (コウライシハ、ノハ) 一年生広葉雑草] ・ 芝生育期、雑草発生初期 ・ 0.03~0.05g<100~200mL>/㎡ ・ 茎葉兼土壌処理 注) ・ 樹木に薬液が付着すると、影響の出る樹種がある 継) ・ 多年生広葉雑草に対する効果の確認 (コウライシハ、ノハ) ・ 効果、薬害の確認(コウライシハ、ノハ) ・ 倍量薬害での確認(コウライシハ、ノハ) ・ 連用試験での確認(コウライシハ、ノハ) ・ 実証試験での確認(コウライシハ、ノハ) ・ 萌芽期薬害の確認(コウライシハ、ノハ) ・ 高温期薬害の確認(コウライシハ、ノハ)
	ノハ	適用性 継続	東日本G研 J埼玉 関西G研 新中国G研 (4)	ねらい 雑草発生初期 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 全般 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 0.03g <100~200mL> 0.04g <100~200mL> 0.05g <100~200mL> 対) グブ ルアグ WDG 0.045g <200mL>		
	コウライシ ハ	連用薬 害 新規	J埼玉 新中国G研 (2)	ねらい 連用薬害 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生育期 0.05g <200mL>		
	ノハ	連用薬 害 新規	J埼玉 新中国G研 (2)	ねらい 連用薬害 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生育期 0.05g <200mL>		
	コウライシ ハ ノハ	緑化木 影響試 験 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	ねらい 緑化木影響試験 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 緑化木生育期(春~夏期) A区:茎葉処理 0.05g <200mL> B区:土壌処理 0.1g <200mL>		
19. SB-325 プロアブル テトラサイクロニトリル (TPN) 53.0% [エス・ディー・エス・アイ・テック] カ]	ベントグ ラス	適用性 継続	関西G研 かごしま空港CC (2)	ねらい 薬類発生始期 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 薬類 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 薬類発生始期 2.0mL (3回) <500mL> 3.0mL (3回) <500mL> 対) プロアブルWDG 芝生育期 薬類発生始期 2g (3回) <500mL>	実・継 (従来と おり)	実) [(コウライシハ、ベントグ) 薬類] ・ 芝生育期、薬類発生前 ・ 1~1.54mL<1000mL>/㎡ ・ 土壌処理 ・ 反復処理の場合は20日間隔 継) ・ 薬類発生始期処理(2~3mL・3回)での効果、薬害の 確認(ベントグ)ラス ・ 芝生育期処理(2~3mL・3回)での効果、薬害の確認 (ベントグ)ラス
	ベントグ ラス	適用性 新規	東日本G研 関西G研 (2)	ねらい 芝生育期 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 芝類 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 芝生育期 2.0mL (3回) <500mL> 3.0mL (3回) <500mL> 対) クスガDF 芝生育期 芝生育期 0.045g (3回) <100~200mL>		

A. 除草剤

(注) アンダーラインは新たに判定された部分

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・維 の 別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
20. SB-3651 顆粒水和 テトラゾロクロニル (TPN) :50.0% テトラ (TMTD) :30.0% [エス・ディー・エス・ピー・イテック]	コライシバ	適用性 継続	東日本G研 (ベントグラス) 関西G研 新中国G研 西日本G研	(4) ねらい 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 藻類 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 藻類発生前 2g (3回) <500mL> 対) グエー・ル・フーア 芝生育期 藻類発生前 1mL (3回) <1000mL>	実・維 (従来どおり)	実) [(ベントグラス) 藻類] ・芝生育期、藻類発生前 ・2g<500mL>/㎡ 2~3回 (散布間隔は2週間を目安) ・土壌処理 維) ・効果、葉害の確認(コライシバ) ・3回処理での年次変動の確認 (ベントグラス) ・連用試験での確認(ベントグラス) ・実証試験での確認(ベントグラス) ・萌芽期葉害の確認(ベントグラス)
21. SB-5521 顆粒水和 ベンデメタリン:53% [エス・ディー・エス・ピー・イテック]	ハーフ・ミュー ググラス	葉害 新規	埼玉スタジアム2002 新中国G研	(2) ねらい 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝萌芽期 0.3g <200~300mL> 0.45g <200~300mL> 0.6g <200~300mL> 対) ヴァイファ・フーア 芝生育期 雑草発生前 0.6g <200~300mL>	実・維 (従来どおり)	実) [春夏作; (コライシバ、ノバ、ハーフ・ミューググラス) 一年 生雑草(ワカ科を除く)] ・芝生育期、雑草発生前 ・0.3~0.6g<200~300mL>/㎡ ・土壌処理 維) ・倍量薬害試験での確認(ハーフ・ミューググラス) ・連用薬害試験での確認(ハーフ・ミューググラス) ・実証試験での確認(ハーフ・ミューググラス) ・萌芽期葉害の確認(コライシバ、ノバ、ハーフ・ミューググラス) ・高温期葉害の確認(コライシバ、ノバ、ハーフ・ミューググラス)
22. SYJ-111 乳 S-メトクロル:83.7% [シンジエンタツヤパン]	コライシバ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研	(3) ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.2mL <200~300mL> 0.3mL <200~300mL> 0.4mL <200~300mL> 対) デュアル乳剤 0.7mL <200~300mL>	実・維 (実)	実) [春夏作; (コライシバ、ノバ) 一年生雑草] ・芝生育期、雑草発生前 ・0.25~0.4mL<200~300mL>/㎡ ・土壌処理 [春夏作; (コライシバ) ヒメグ] ・芝生育期、 1回目; 雑草発生前、 2回目; 雑草発生前~初期 ・0.25~0.4mL<200~300mL>/㎡ 2回 (散布間隔は1~2ヶ月を目安) ・土壌処理 [春夏作; (ハーフ・ミューググラス) 一年生雑草] ・芝生育期、 雑草発生前 ・0.25~0.4mL<200~300mL>/㎡ ・土壌処理 維) ・効果、葉害の確認(ハーフ・ミューググラス) ・0.2mL処理での効果、葉害の確認(ハーフ・ミューググラス) ・倍量薬害試験での確認 (コライシバ、ノバ、ハーフ・ミューググラス) ・連用薬害試験での確認 (コライシバ、ノバ、ハーフ・ミューググラス) ・実証試験での確認 (コライシバ、ノバ、ハーフ・ミューググラス) ・萌芽期葉害の確認 (コライシバ、ノバ、ハーフ・ミューググラス) ・高温期葉害の確認 (コライシバ、ノバ、ハーフ・ミューググラス) ・緑化木への影響の確認
	コライシバ	適用性 継続	東日本G研 植調研 関西G研 新中国G研 西日本G研	(5) ねらい 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 ヒメグ 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 ヒメグ 発生前(1回目) ⇒1回目処理1~2ヵ月後、 ヒメグ 発生前~発初期(2回目) 0.25mL <200~300mL> 0.3mL <200~300mL> 0.4mL <200~300mL>		
	ノバ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研	(3) ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.2mL <200~300mL> 0.3mL <200~300mL> 0.4mL <200~300mL> 対) デュアル乳剤 0.7mL <200~300mL>		
	ハーフ・ミュー ググラス	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研	(3) ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.2mL <200~300mL> 0.25mL <200~300mL> 0.4mL <200~300mL> 参) デュアル乳剤 0.7mL <200~300mL>		

A. 除草剤

注) アダグ・ラインは新たに判定された部分

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
23. SYJ-192 7D7アル トリフオキシメロンナトリウム 塩:10% 【シジエンタグ・パナ】	コウライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 (2)	ねらい 雑草発生初期 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 茎葉兼土壌処理 薬量 芝生育期、雑草発生初期 <水量> 0.02mL<100~200mL> /㎡ 0.025mL<100~200mL> 0.05mL<100~200mL>	実・継	実) [春夏作; (コウライシハ、シハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生初期 ・ 0.025 ・ 0.02~0.05mL<100~200mL>/㎡ ・ 茎葉兼土壌処理 継) ・ 年次変動の確認(コウライシハ、 ・ 年次変動の確認(シハ) ・ 倍量薬害試験での確認(コウライシハ、シハ) ・ 連用薬害試験での確認(コウライシハ、シハ) ・ 実証試験での確認(コウライシハ、シハ) ・ 萌芽期薬害の確認(コウライシハ、シハ) ・ 高温期薬害の確認(コウライシハ、シハ) ・ 緑化木への影響の確認
	シハ	適用性 新規	東日本G研 調研所 埼玉 関西G研 新中国G研 西日本G研 (6)	ねらい 雑草発生初期 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 茎葉兼土壌処理 薬量 芝生育期、雑草発生初期 <水量> 0.02mL<100~200mL> /㎡ 0.025mL<100~200mL> 0.05mL<100~200mL>		
24. SYJ-229 液 フシラム:30.0% MDBAカリウム塩:3.0% 【シジエンタグ・パナ 保土谷UPL】	コウライシ ハ	適用性 継続	サンヒルズ CC 新中国G研 (2)	ねらい 雑草発生初期 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 茎葉処理 芝生育期、雑草発生初期 <水量> 0.45mL<200~300mL> /㎡ 0.6mL<200~300mL> 0.75mL<200~300mL> 対) アージラ液剤 芝生育期、雑草発生初期 0.5mL<200~300mL>	実・継	実) [春夏作; (コウライシハ、シハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生初期 ・ 0.45~0.75mL<200~300mL>/㎡ ・ 茎葉兼土壌処理 継) ・ 効果・薬害の確認(コウライシハ、シハ) ・ 倍量薬害試験での確認(コウライシハ、シハ) ・ 連用薬害試験での確認(コウライシハ、シハ) ・ 実証試験での確認(コウライシハ、シハ) ・ 萌芽期薬害の確認(コウライシハ、シハ) ・ 高温期薬害の確認(コウライシハ、シハ) ・ 緑化木への影響の確認
	シハ	適用性 継続	サンヒルズ CC 新中国G研 (2)	ねらい 雑草発生初期 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 茎葉処理 芝生育期、雑草発生初期 <水量> 0.45mL<200~300mL> /㎡ 0.6mL<200~300mL> 0.75mL<200~300mL> 対) アージラ液剤 芝生育期、雑草発生初期 0.5mL<200~300mL>		
25. YS-034 粒 ブタミメス:1.0% DCBA:0.50% N:P:K:Mg =16.5:5.5:5.6:5:2.0 【住化グリーン】	コウライシ ハ	適用性 継続	真名CC 新中国G研 (2)	ねらい 雑草発生初期 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 土壌処理 芝生育期、雑草発生初期 <水量> 40g /㎡ 50g 60g 対) 一任	実・継	実) [春夏作; (コウライシハ) 一年生(科)雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 40~60g/㎡ ・ 土壌処理 [春夏作; (コウライシハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前~初期 ・ 40~60g/㎡ ・ 土壌処理 [春夏作; (ハ・ミューダグ・グラス) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 20~40g/㎡ ・ 土壌処理 継) ・ 雑草発生初期処理での一年生(科)雑草に対する 効果の確認(コウライシハ) ・ 効果・薬害の確認(ハ・ミューダグ・グラス) ・ 連用試験での確認(コウライシハ、ハ・ミューダグ・グラス) ・ 実証試験での確認(コウライシハ、ハ・ミューダグ・グラス) ・ 萌芽期薬害の確認(コウライシハ、ハ・ミューダグ・グラス) ・ 高温期薬害の確認(コウライシハ、ハ・ミューダグ・グラス) ・ 緑化木への影響の確認
	ハ・ミュー ダグ・グ ラス	適用性 継続	東日本G研 関西G研 新中国G研 西日本G研 (4)	ねらい 雑草発生前 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 土壌処理 <水量> 20g /㎡ 30g 40g 対) 一任		

A. 除草剤

注) フラワーラインは新たに判定された部分

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
26. アクロン 乳 アクトール 43% [日産化学工業 研究所]	コライシ ハ	適用性 新規	植調研 新中国G研	(2) ねらい ヒメグ 発生前→発生初期 対象 雑草 一年生科 ー 一年生広葉 ー 多年生科 ー 多年生広葉 ー その他 ヒメグ 設計 薬量 ＜水量＞ /㎡ 土壌処理 芝生育期、 ヒメグ 発生前 (1回目)→発生初期 (2回目) 0.6mL→0.6mL <250mL> 0.8mL→0.8mL <250mL> 1.0mL→1.0mL <250mL>	実・継	実) [春夏作; (コライシハ、フシハ) 一年生科雑草] ・芝生育期、雑草発生前 ・0.60-8→1.0mL<250mL>/㎡ ・土壌処理 継) ・2回処理でのヒメグに対する効果の確認 (コライシハ) ・年次変動の確認 (フシハ)
	フシハ	適用性 新規	東日本G研 J埼玉 真名CC 関西G研 新中国G研 西日本G研	(6) ねらい 春期雑草発生前 対象 雑草 一年生科 全般 一年生広葉 全般 多年生科 ー 多年生広葉 ー その他 ー 設計 薬量 ＜水量＞ /㎡ 土壌処理 芝生育期、春期雑草発生前 0.6mL <250mL> 0.8mL <250mL> 1.0mL <250mL> 対) 慣行処理 (一任)		

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
1. NPK-063 水和 フルグ リミドール 50% [日本農薬]	コライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 植調研 新中国G研	(3) ねらい ・伸長抑制による刈込み軽減 設計 薬量 ＜水量＞ /㎡ 全面土壌処理 芝生生育期 0.025g <100mL> 0.025g <300mL> 0.05g <100mL> 0.05g <300mL> 0.075g <100mL>	実・継	実) [春夏作; (コライシハ、フシハ) 生育抑制効果による 刈込軽減] ・芝生育初期～盛期 (刈込約1週間前) ・0.2～0.4g<250～300mL>/㎡ ・土壌薬液処理 ・芝生育期 ・0.025～0.075g <100～300mL>/㎡ ・土壌薬液処理
	フシハ	適用性 継続	東日本G研 植調研 新中国G研	(3) ねらい ・伸長抑制による刈込み軽減 設計 薬量 ＜水量＞ /㎡ 全面土壌処理 芝生生育期 0.025g <100mL> 0.025g <300mL> 0.05g <100mL> 0.05g <300mL> 0.075g <100mL>	継)	・低薬量反復処理での効果、薬害の確認 (コライシハ、フシハ) ・低薬量 (0.025～0.075g) での水量100mL/㎡処理に ついて年次変動の確認 (コライシハ、フシハ)
	ベントグ ラス	適用性 継続	太平洋C美野里C 静岡G場協会	(2) ねらい 伸長抑制による刈込み軽減 設計 薬量 ＜水量＞ /㎡ 全面土壌処理 芝生生育期 0.0125g <250～300mL> 0.025g <250～300mL> 0.05g <250～300mL>	実・継	実) [春夏作; (ベントグラス) 生育抑制効果による刈込 軽減] ・芝生育初期～盛期 (刈込約1週間前) ・0.1～0.2g<250～300mL>/㎡ ・土壌薬液処理 ・芝生育期 ・0.0125～0.05g<250～300mL>/㎡ (注: 高薬量で複数回散布すると濃緑化を呈する 場合がある) ・土壌処理
	ベントグ ラス	薬害 継続	太平洋C美野里C 静岡G場協会	(2) ねらい 反復処理 (2, 3, 4回処理) における薬害 設計 薬量 ＜水量＞ /㎡ 全面土壌処理 芝生生育期 0.05g×2回 <250～300mL> 0.05g×3回 <250～300mL> 0.05g×4回 <250～300mL>	継)	・低薬量反復処理での効果、薬害の確認 (ベントグラス)
ベレニアル グラス	適用性 新規	札幌国際CC 静岡G場協会 新中国G研	(3) ねらい 伸長抑制による刈込軽減効果 設計 薬量 ＜水量＞ /㎡ 全面土壌処理 芝生生育期 0.025g <200～300mL> 0.05g <200～300mL> 0.075g <200～300mL>	継	継) ・効果、薬害の確認 (ベレニアルグラス)	
	ベレニアル グラス	薬害 新規	静岡G場協会 新中国G研	(2) ねらい 反復処理 (2, 3, 4回処理) における薬害 設計 薬量 ＜水量＞ /㎡ 全面土壌処理 芝生生育期 0.075g×2回 <200～300mL> 0.075g×3回 <200～300mL> 0.075g×4回 <200～300mL>		

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種・類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
1. NPK-063 水和 つづき	ベントグ ラス	適用性 継続	東日本G研 関西G研 新中国G研 (3)	ねらい 生育抑制によるスズメノカタビウ密度低減効果 全面土壌処理 芝生生育期 設計 薬量 <水量> /㎡ 0.0125g <100mL> 0.0125g <300mL> 0.025g <100mL> 0.025g <300mL> 0.05g <100mL>	実・継	実) [春夏作; (ベントグ)ラス] 生育抑制によるスズメノカタビウ密度軽減 ・芝生生育期、スズメノカタビウ生育期 ・0.025~0.05g<100~300mL>/㎡ ・土壌処理 継) ・0.0125g/㎡処理での効果、薬害の確認(ベントグ)ラス
2. RGP-101 液 ベンゾアミノグリシン:2.0% [理研グリン]	ベントグ ラス	適用性 継続	自社試験 東日本G研 新中国G研 (3)	ねらい スズメノカタビウ出穂抑制効果(単用) 対象 雑草 一年生(科) スズメノカタビウ 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 スズメノカタビウ出穂前から出穂始期 0.6mL×2回 <100~200mL> 0.9mL×2回 <100~200mL> 1.2mL×2回 <100~200mL> 0.6mL×3回 <100~200mL> 0.9mL×3回 <100~200mL> 1.2mL×3回 <100~200mL>	実・継	実) [春夏作; (ベントグ)ラス] スズメノカタビウ出穂抑制 ・芝生生育期 ・スズメノカタビウ出穂前~出穂始期 ・0.6~1.2mL<100~200mL>/㎡ 3回 (散布間隔は20~25日を目安) ・茎葉処理 継) ・2回処理での効果、薬害の確認(ベントグ)ラス ・倍量薬害試験での確認(ベントグ)ラス
3. RGP-101 (エチン液剤との混用) 液 ベンゾアミノグリシン:2.0% +エチン:21.5%	ベントグ ラス	適用性 継続	自社試験 東日本G研 新中国G研 (3)	ねらい スズメノカタビウ出穂抑制効果(エチン混用) 対象 雑草 一年生(科) スズメノカタビウ 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 スズメノカタビウ出穂前から出穂始期 本剤 0.3mL+エチン1.0mL×2回 <100~200mL> 本剤0.45mL+エチン1.0mL×2回 <100~200mL> 本剤 0.6mL+エチン1.0mL×2回 <100~200mL> 本剤 0.3mL+エチン1.0mL×3回 <100~200mL> 本剤0.45mL+エチン1.0mL×3回 <100~200mL> 本剤 0.6mL+エチン1.0mL×3回 <100~200mL>	実・継	実) [春夏作; (ベントグ)ラス] スズメノカタビウ出穂抑制 (エチン液混用) ・スズメノカタビウ出穂前~出穂始期 ・本剤0.3~0.6mL+エチン液1.0mL <100~200mL>/㎡ 3回 (散布間隔は20~25日を目安) ・茎葉処理 継) ・効果、薬害の確認(ベントグ)ラス ・2回処理での効果、薬害の確認(ベントグ)ラス ・倍量薬害試験での確認(ベントグ)ラス
4. SB-201 乳 メチルグリシン:25% [エス・ディー・エス・アイ・エフ・ケイ]	ベントグ ラス	適用性 新規	東日本G研 関西G研 新中国G研 (3)	ねらい スズメノカタビウ出穂抑制効果および密度低減効果 対象 雑草 一年生(科) スズメノカタビウ 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 芝生生育期 雑草生育期 0.2mL→0.2mL(2回処理)<200~300mL> 0.3mL→0.3mL(2回処理)<200~300mL> 0.4mL(1回処理)<200~300mL>	継	継) ・効果、薬害の確認(ベントグ)ラス